

アヒア



マイバッグ環境大臣賞受賞作品展示(3月5日~11日)と
第9回環境学習講座「ふろしきを使ってみよう」



アイスクリームも
作ったよ!

こどもエコクラブ
冬の交流会(葛巻町)
わくわく雪遊びツアーの様子



日増しに暖かくなってきました。春の訪れを感じますね。皆さんの学校や会社でも新年度を迎え、新たな気持ちでスタートした人も多いのではないのでしょうか。さて、そんなセンターも季節とともに少しずつ変化しています。今号では、展示やイベント、新着図書など盛り沢山の内容でお届けします。

Index

- ▶ センター情報
 - ・ 展示
 - ・ イベント報告

- ▶ 団体紹介
 - <久慈市>くじ・川の会
 - <花巻市>花巻のブナ原生林に守られる市民の会

- ▶ 県内イベント情報
- ▶ 県内イベント報告
 - ～「出張環境学習会」編～
- ▶ 特集コラム
 - ・ ブックレビュー・新着図書のご案内
 - ・ 石田正史さんのドイツ通信Vol.3



センター情報

何かとイベントの多い「冬」。環境学習交流センターでも季節にちなんだものや、冬休みにピッタリなものなど、様々なイベントを開催しました。

そして、センターの一角に新たに仲間入りした展示もご紹介します！

◎展示

手作り感あふれる、そして スタッフの思いが詰まったメッセージ



年明けと共に産声を上げた新コーナー「エコトピ」。エコトピとは、エコトピックスの略で、環境に関するホットな情報をお届けする、手作り感たっぷりのコーナーです。

センタースタッフが順番に担当者となり、その時気になっている話題を取り上げていきます。更新は1日と15日の月2回（変更あり）。スタッフのみならず、飛び込みゲストとしてセンターに縁のある方が担当になることも…!?これは目が離せません。

エコトピでは「スタッフ便り」として、スタッフからのコメントも公開しています。ふだんスタッフが何を思っているのか…。ささやかながら皆さんとの交流を深めるコーナーにもなればと願っています。

◎イベント報告

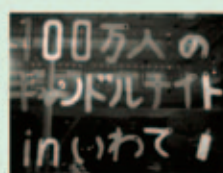
100万人のキャンドルナイトinいわて2007冬至編

開催日：12月23日（日） 17:00～19:30

会場：環境学習交流センター



環境トークや電気を使わないコンサートなど、盛り沢山の内容で子どもから大人まで楽しめるイベントとなりました。暗闇にキャンドルを灯し、いつもと違うセンターの雰囲気（この日は特別に許可を得て火をつけることができました！）。手作りお菓子やオーガニックコーヒーも振舞われ、参加者の皆さんも自然と穏やかな気持ちになります。また、ハチドリのお話になぞらえ「今わたしにできること」とした環境宣言を一人ひとり考えました。最後は全員で「見上げてごらん夜の星を」を歌い、静かな夜の空に思いを馳せていました…。



第2回 地球温暖化防止活動推進員の日

開催日：1月19日（土） 13:00～16:00

会場：環境学習交流センター

昨年夏に第1回が開催され、多くの人が集まった「地球温暖化防止活動推進員の日」。2回目となる今回は、推進員さんによるリレートークを行いました。前半は子ども向け、後半は大人向けの内容でしたが、皆さん自分の得意分野を分かりやすく話してくださいました。

プログラム

- 13:00～13:05 開会の挨拶
- 13:05～13:25 「これって本当に環境にいいの？」
高橋良和 氏
- 13:25～13:45 「身の回りのものを再利用しよう」
梅野克雄 氏
- 13:45～14:00 「君たちはどう生きるか、地球温暖化の時代」 平 靖夫 氏
- 14:00～14:15 質問・感想
- 14:15～14:45 「家庭でのエネルギー使用量の半分は暖房って本当!!」 長土居正弘 氏
- 14:45～15:15 「農から見た温暖化」 佐々木勝裕 氏
- 15:15～15:45 「楽しい暮らし」 藤根正悦 氏
- 15:45～15:55 質問・感想
- 15:55～16:00 閉会の挨拶

「地球温暖化」と言っても、その切り口は推進員さんによって様々です。皆さん、自らの経験を踏まえて話をしてくださるので、とても説得力があります。初めて耳にすることでも自分のこととして置き換え、考えることができました。

この日は、アイーナ内で別のイベントが開催されており、音が聞き取りにくいのではないかと心配していましたが、しかし、準備や司会も推進員さんがやるという試みで、皆さんのまた別の一面を見ることができました。



環境パートナーシップ会議

月毎にテーマを変えて、毎月第3日曜日の午前中に開催しました。会議とは言っても、堅苦しくない和やかムードのワークショップ。ここでは第11回の様子をお伝えします。

第11回

開催日：2月17日（日） 10:00～12:00

テーマ：グリーンファイナンス

グリーンファイナンスとは、金融面で企業や個人が行う環境活動を支援することを指します。エコ住宅や低公害車に対する融資金利の待遇や排出権取引などの商品が開発されていますが、クリーンエネルギーへの投資など日本では浸透していない部分もあります。難しい内容ですが、今後の可能性を考えていくと非常に面白いテーマです。仕事に活かすことができるかもしれないということで参加して下さった方もいました。スタッフにとっても勉強になりました。



いわて森・川・海 交流フォーラム

開催日：2月23日（土） 13:00～16:30

「岩手県全流域における健全な水循環創出のためのネットワークづくりと交流の促進」を目的に開催されたこのフォーラム。岩手大学学長の平山健一氏より「人のつながりが創る新しい地域」と題した基調講演、岩手県内で活動する10団体による事例発表会や来場者との意見交換会と、充実の内容でお送りしました。130名もの方にご来場いただき、参加者からは「とても面白かった」、「フォーラムを継続開催して欲しい」との声が寄せられ盛況に終わりました。



団体紹介

団体紹介のコーナーは4回目となりました。どの団体も、このスペースでは紹介しきれないほど様々な活動をしています。ここで紹介できるのはほんの一部ですが、多くの方に地域で活躍している団体のことをもっと知っていただければと思います。

くじ・川の会 (久慈市)

会員が応分の力を出し合って、川に豊かな自然を取り戻し、老いも、若きも、幼きも一緒になって楽しめるような水辺を作ることなどを目的として、平成元年3月に結成されました。現在、会員数は130人に達しました。純粋に自然を楽しむ人たちが集まり、毎月様々な活動をしています。例えば、蛍・トンボの里作りやイトヨの繁殖、月見草やマーガレットの花植えなどの事業を展開しています。また、河川敷の清掃活動や「探鳥会」、小中学生を対象とした「久慈川の生きもの達の調査」、人気行事の「森林教室」なども毎年実施しています。今後、海・川・山を一体となった自然として捉え、更に学習・活動を進めていきたいとします。明るい希望として、今年・来年中に久慈市街の川で、鮭の産卵が見られるよう、関係団体と協調努力していきたいですね。



花巻のブナ原生林に守られる市民の会 (花巻市)

88年5月の結成当時、東北一帯のブナ林は激しい伐採にさらされ、水源地の生態系では壊滅的な破壊が起きていました。見かねた山の仲間など有志によってこの会が作られました。活発な活動が実り93年4月、ついに一帯の禁伐を勝ち得ました(2200ha)。その後は、地元ブナ林の生態系を知ってもらうための啓発活動がメインになり、自然展や観察会などに力を注いでいます。最近「冒険キャンプ」や、水生生物などの調査、幼稚園での観察会、小・中学生対象の出前講座など、子供たちへのアプローチの回数が増えています。この春、当会は20周年を迎えます。やや高齢化が進んできてはいますが、冒険キャンプなどで育んだ子供たちももう大学生です。きっと自然を大事にする人間になって帰って来てくれることでしょう。

県内のイベント情報

少年少女春の赤林山

ウォッチング

- ・日時：4月27日(日)
午前9時～午後3時
- ・参加料：無料
- ・集合場所：盛岡市上飯岡・
横河電子株式会社駐車場
- ・諸注意：長袖、長ズボン、手袋、長靴が必要

少年少女サワガニウォッチング

- ・日時：5月11日(日)
午前9時～午後3時
- ・参加料：無料
- ・集合場所：雫石町総合体育館
バイパス沿い駐車場
- ・諸注意：手袋、長靴、スニーカーは不可、サワガニ観察であり採取は出来ません



北いわてのスローツアー2008(春)

～食からはじめる身近な自然を活かした暮らし編～

- (2)「実践パーマカルチャー講座
～校庭を食べ物の森にしよう!～」
- ・日時：4月19日(土)～20日(日)
- ・参加料：15,000円
(食費・宿泊費・保険料等を含む)
- ・集合場所：森と風のがっこう
- ・定員：大人(親子も可)20名(先着順)

お問合せ

NPO法人 岩手子ども環境研究所
(森と風のがっこう)
TEL&FAX 0195-66-0646
E-mail mori@kaze.mi.to

お問合せ

岩手自然ガイド協会設立準備会(高橋)
TEL: 019-692-2443 070-5623-4659
E-mail: yoshikazu-inga@mail.goo.ne.jp



県内のイベント報告

～「出張環境学習会」編～

環境学習交流センターでは、普段センターに来ることができない地域の方々に対して、出張による環境学習会を開催しました。特に2月は、岩手県の北から南まで様々な地域におじゃましてきました！

これを機に、県内各地で環境について考え行動する人が増えて欲しいと思います。

「ドリームキャッチャー作り」

日時・会場：

〔八幡平西根地区市民センター〕

2月2日（土）13:30～15:30

〔大船渡市立中央公民館〕

2月3日（日）13:30～15:30



ネイティブ・アメリカンに伝わるお守りを作りながら、彼らの考え方や自然観について学びました。環境

問題の解決に直接つながるわけではありませんが、自分の周りの自然について考えるヒントがいっぱいあるんです。参加者の方との和気あいあいとした雰囲気の中、温かい気持ちでいっぱいになりました。

大股高齢者教室（住田町）

「未来は変えられる」

開催日：2月14日（木）

会場：住田町大股地区公民館



大雪のこの日、住田町の大股地区で開かれる高齢者教室で学習会をしてきました。地球温暖化をテーマに、将来に向けて身近にできる工夫や行動について、体験を交えながら考えていきました。昔と今の暮らしの変化を写真で見比べてみたところ「懐かしいなあ。」という声が聞かれました。温暖化の原因には生活スタイルの変化が関係していることを改めて見直

すきっかけとなったようです。孫、ひ孫の世代のために、今できることを家族みんなで実践してもらいたいなと思います。

「不都合な真実」上映会

開催日：2月15日（金）

開 場：18:30 開演：19:00

会 場：北上さくらホール・中ホール

ノーベル平和賞を受賞したアメリカ元副大統領アル・ゴア氏が、地球温暖化問題について説いた映画「不都合な真実」を上映しました。北上市や花巻市から250名以上の方が集まり、関心の高さも伺えました。この映画を観て何か感じてもらえればと思っていましたが、「エコバッグを使う」「ムダを省きたい」など、一人ひとりの感想もそれぞれ違います。皆さんも、自分にできることから始めてみませんか。



環境学習広報車



岩手県では、4月から「環境学習広報車」を使って県内各地で出前環境学習を展開します。地球温暖化対策やごみ減量化など様々な環境問題に対する県民の皆さんの取組みを支援するものです。学校の授業や地域の学習会、イベントなど環境学習にお役立て下さい。緑の車があなたの街におじゃまします。出前の予定は随時センターHPでお知らせする予定です。出前に関するお問合せは、環境学習交流センターまで。

環境学習広報車

センターブックレビュー



「ヨーロッパ環境都市のヒューマンウェア —持続可能な社会を創造する知恵」

大橋 照枝／学芸出版社／2007年

環境保全のために必要な仕組みや活動を考える上で、「ハードウェア」「ソフトウェア」そして「ヒューマンウェア（地域社会の住民自らが行政や企業と協働で活動を具現化していく知恵）」が大切だと著者は述べています。スウェーデン、デンマーク、ドイツの事例を見てきた著者の、日本への提言も盛り込まれています。

「風の谷のナウシカ1～7」

宮崎 駿／徳間書店／1995年

スタジオジブリの名作アニメ映画としておなじみの作品ですが、実はあのお話には続きがあることをご存知ですか？自然と科学技術の対立、文明の破壊と再生がテーマのこの作品には、作者の環境問題に対するメッセージが込められています。アニメ情報誌「アニメージュ」に連載された原作漫画。大人の方にも読んでほしい作品です。

特集コラム

～新着図書のご紹介～

環境学習交流センターで新たに入荷した図書をご紹介します。アイーナには若手県立図書館がありますが、図書館にはない環境関連の図書もたくさんあります。貸出もしていますので、ぜひご利用ください。

- ・「地球温暖化、しずみゆく楽園ツバル
—あなたのたいせつなものはなんですか？」
山本 敏晴／小学館／2008
- ・「エコトバ」
電通ECOプロジェクト／小学館／2007
- ・「ウッドマイルズ
—地元の木を使うこれだけの理由」
ウッドマイルズ研究会／
農山漁村文化協会／2007
- ・「パーマカルチャー
—農的暮らしの永久デザイン」
ビル・モリソン 他／
農山漁村文化協会／1993
- ・「生きもの地図をつくろう」
浜口 哲一／岩波ジュニア新書／2008

上記以外にも多数ありますのでお気軽にどうぞ!!

石田さんより、以前住んでいたベルリンからデュッセルドルフへ引っ越したとのお知らせがありました。雪が全くないため、日本の寒さ（雪？）が恋しかったそうです。今回は「交通事情」について聞いてみました。

ドイツも基本は先進国ですので、日本と同じくらい車も走っていますし、渋滞も発生します。ただ、日本では、タクシーやバスなどは客待ちの時に平気でエンジンを掛けっぱなしにしていますよね。ドイツではあまり見られません。一方で、10年前ドイツに来た時、天気の良い日の列車では車内の電気を消していました。最近私が見る限りどの列車でも明るい時でも電灯はつけっ放しです。車や電車については、日本とドイツ互角でしょうか。

その他ですが、ある一定の大きさの街に行くと、必ず路面電車が走っています。住宅街の中も普通に走っています。本当に便利です。車と共存しているように見受けられます。自転車については、私が以前住んでいたベルリンには市内の至る所に自転車専用道が設置されていて、本当に自転車天国でした。日本では自転車が走る場所が決まっていなかったため、邪魔者扱いされているような気がします。

交通機関の中には入りませんが、私が実践しているのは歩く事です。歩く事で自分のエネルギーを消費し、食べ物もおいしく食べられ、そうすることで健康になり、病気にもなりにくくなります。車も自転車もないシンプルな生活ですが、これもまた慣れれば面白い生活だと思っています。

石田正史さんの
ドイツ
通信
Vol.3

＜センター通信＞スタッフのつぶやき

今年度の「てとて」発行は、今号で最後となりました。先日実施したアンケート調査では、皆様からたくさんのご意見・ご感想をいただきました。ありがとうございました。来年度の参考にさせていただきます。次号もお楽しみに！

さて、センターでは県内各地に出向いてイベントや学習会を行っています。今年の冬は、昨年に比べ気温も低く雪も多かったため、車での移動には一苦勞。路面凍結はもちろん、吹雪に巻き込まれ1m先も見えないような恐ろしい状態もあり、自然の怖さを身をもって体験しました。春の訪れを待ち遠しく感じている今日この頃です。(K)

発行 環境学習交流センター

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ5F
TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753
E-mail : eco@aiina.jp

<http://www.aiina.jp/environment/>

◎環境学習交流センターは、
特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてが
若手県から委託を受けて運営しております。

次号は7月発行予定です。
楽しみに待っていますね！

R100
環境学習100周年記念
発行しています